

## T-C パッキングジグの使用説明書

治療用義歯製作後、床内面にティッシュコンディショナー（図 10）を均一に裏装して、口腔粘膜面を再現した石膏模型に正確に適合させるために使用する。

通常、この操作は口腔内で直接、フリーハンドで行うが、本製品を使用することにより、ティッシュコンディショナーを緻密にすると同時に、石膏模型に対して均一な厚さで裏装できる。

このジグはそれぞれ互換性があり、装着した石膏模型を他のジグに付着しても正確に適合する。そのため、診療室とやり取りするのは石膏模型と義歯だけでよく、技工室に 2 台、診療室に 2 台用意することで、すべての患者さんに対応できる。

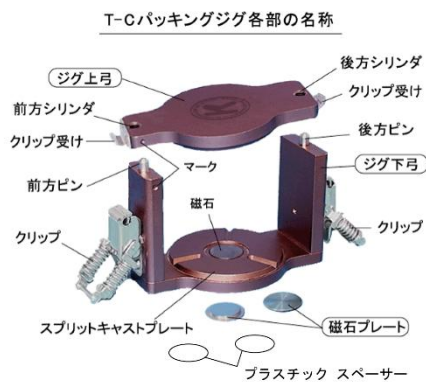


図 1

T-C パッキングジグ各部の名称を示す。



図 2

ジグ下弓の磁石部にプラスチックスペーサーを置き、その上に磁石プレートを乗せる。

この操作は各ジグの互換性を確保するため磁石より磁石プレートを少し離すものであり、装着後プラスチックスペーサーは使用しない。



図 3

ジグ下弓に普通石膏に適量の硬化促進剤を加えたものを厚さ 2 c m 程度盛り、水に濡らせたスパチュラで上面を平らにする。

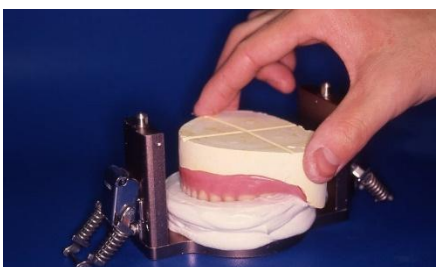


図 4

石膏模型を適合させた義歯の咬合面を下にして石膏泥の上に乗せる。



図5

石膏模型基底面に硬化促進剤を添付した普通石膏泥を盛る。



図6

ジグ上弓のスプリットキャスト面にも石膏泥を盛る。

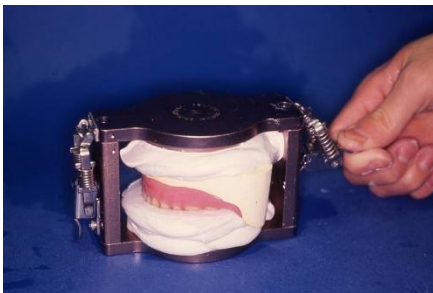


図7

上下ジグの前後方を合わせ、前後のクリップを閉じる。



図8

石膏硬化後、基底面部からはみ出た余剰石膏を石膏トリマーにて除去して形態を整える。

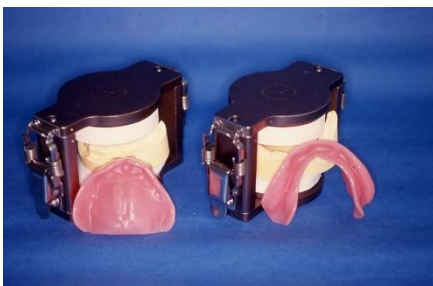


図9

ジグ装着の終了した石膏模型と上下の義歯。

石膏模型を他のジグに戻しても正確に付着する。

この時、プラスチックスペーサーは除去しておく。

この義歯の粘膜面にT-Cパッキングジグを使用してティッシュコンディショナーを均一に裏装する。



図 10

本システムに使用するティッシュコンディショナーの一例。

東京歯科産業株式会社：ハイドロキャスト plus

参考：<http://www.tokyodental.co.jp/maker.html>



図 11

石膏模型にアルギン酸系の分離材を塗布後、通法通りに混和したティッシュコンディショナーをスパチュラにて義歯内面に盛る。

石膏模型が乾燥している場合は約 40℃の温湯に 20 分程度浸漬してから分離材を塗布すると良い。



図 12

ティッシュコンディショナーを盛りつけた義歯内面を石膏模型に合わせる。



図 13

ジグの上下弓を合わせて前後のクリップを閉じる。



図 14

約 40℃のお湯に浸漬し、ティッシュコンディショナーの重合を促進させる。



図 15

義歯を模型から外し、余剰のティッシュコンディショナーを加熱したワックススパチュラで除去後、焼き付けて辺縁を整える。



図 16

ティッシュコンディショナーで裏装された義歯粘膜面。均一に裏装されており、表面は気泡が無く、緻密である。この後、口腔内に装着して粘膜調整を進めて行く。

### スクラッパーの使用説明書



図 17

古くなった義歯内面のティッシュコンディショナーを剥がす時に使用するスクラッパー。

粘膜面の複雑な形態に対応するため、大中小の 3 種類用意されている。



図 18

古くなったティッシュコンディショナーを義歯内面の床用レジンを可及的に削ることなく、ティッシュコンディショナーのみを剥がすことができる。